

<別添3>

2009年度 橋本龍太郎記念 APFED 賞 受賞者一覧

賞	タイトル	実施国名	概要
金賞	森林周辺住民の生活水準向上と自然環境の保全：侵略性外来植物を使った工芸品	インド	侵略性外来生物であるランタナ（クマツヅラ科の草）を竹の代用材料として活用し、竹を主な収入源とする森林周辺住民の貧困層への収入源とするだけでなく、減少してゆく竹資源への負荷減少と回復促進、ひいては固有の生物多様性の回復促進につなげている。
銀賞	スリランカの地方コミュニティにおける持続可能な電力供給のための官民連携	スリランカ	貧困に苦しむスリランカの地方コミュニティにおいて、環境負荷の低い小規模水力発電による電力を供給。電力供給が開始されたことにより、各種事業にも成功し、貧困から抜け出す住民もでてきた。また夜間も活動が可能になったことにより、子供たちの勉強できる機会が増え、教育の充実にもつながった。
	フィリピンにおける米の自給を目指した合鴨水稲同時作の活用	フィリピン	合鴨農法を開発した日本の古野氏の直接指導のもと、フィリピンにおいてこの有機農法を普及啓発、情報提供を行い、米の生産性の向上に成功。無農薬であるため参加農家の支出は減り、米の生産増加と、鴨の雛や肉の販売収益により、収入は増加。政策面でも、これまで農薬の調達だけに限定されていた政府からの補助金が、鴨の調達にも適用されるなど重要な進歩が得られた。

(石川特別賞)

賞	タイトル	主な実施団体	概要
金賞	民間まちづくり会社とNPOによる御祓川再生事業	株式会社御祓川	微生物と植物による排水路の浄化システム（ビオパーク）を完成。ビオパークから採れるクレソンを食品として商品化、その収入の一部を浄化事業へ還元。また、川沿いに店舗を誘致し各種イベントが川沿いで行われる環境を整備。市民と川との関係を取り戻している。
銀賞	羽工の省エネ活動は地球への恩返し	石川県立羽咋工業高等学校	メダカ復活、水中生物観察、再生可能エネルギー発電等の幅広いテーマで環境教育を推進すると同時に、環境負荷低減のための目標を設け、電力・水・燃料の使用量、ごみ発生量及びリサイクル量、紙の節約、グリーン購入の推進等を推進。着実に成果を上げている。
銅賞	地域協労の森林整備・里山保全活動	石川フォレストサポーター会	県内各地域において、地元住民とともに森林整備・里山保全活動を展開。下草刈り、間伐等の作業のほか、指導者養成のための講座開設、研修・講習会の開催等の普及広報活動も実施。これにより、地元住民による自主活動も始まるなど、地域の意識の高まりに貢献。
入賞	SEP 聖高エコプロジェクト（世界一エコな学校をめざして）	石川県立大聖高等学校	CO2 排出の毎年 5% ずつの削減等温暖化に関する目標を立てたほか、生徒が地元住民と協力して森林保全活動（下草刈り、間伐、枝打ち、植林、登山道整備など）を行い、いずれも着実に成果を上げてきている。
	CO2 削減・吸収型金融商品で取り組む地球の温暖化防止事業	のと共栄信用金庫	CSR の考え方に基づき、家庭等でCO2 削減に取り組む顧客の預金利率を優遇する定期預金を発売したほか、「森づくりファンド」による県有林での森林整備を推進。平成20年度は県有林3haを整備し、これによって県の「CO2 吸収量認証制度」で『37.5CO2 トン』と認定されるなどの成果。
	鴨池田んぼクラブ	加賀市鴨池観察館友の会	水田耕作放棄や農業機械化に伴う鴨池へのガン・カモ飛来数減少への対策として、鴨池周辺地区の生産組合の協力も得てクラブを結成、昔ながらの水田管理や冬季に水を張る管理等を行っている。この結果、市民の意識向上につながっている。